

キーワードは **もしもあれがなかったら…**

～家族の理解と代替がなかったら～



事故の内容	サイレーン取り出し中、地下式サイロに転落
事故の原因	サイロ周囲が霜で滑りやすく、長靴の底にも付着。チェーン巻き上げ機がサイロ上部に移動。
けがの状況	腰骨・左大腿骨の複雑骨折

高所から転落 両足骨折の重傷

牧草飼料の取り出し中
三メートル下に転落

家族労働で乳牛七〇頭、飼料畑七ヘクタールを経営する男性（40代）がサイレーンを取り出す作業中、地下式サイロに落下して腰骨（腸骨）と左大腿骨を複雑骨折する重傷を負いました。事故当時、現場周囲は霜が降りて長靴の底にも付着し滑りやすくなっていました。これに加え、いつもはサイロ横に設置してあるホイスト（チェーン巻き上げスリット）がサイロ上部に移動するなどしていました。男性は入院とリハビリで通常の生活に戻るまで四か月を要したとのこと。

毎日の作業が必須の畜産業
代替要員の確保待たなし

搾乳や給餌など、酪農は毎日の作業が必ず発生します。男性はけがで作業できなくなり、妻が農場管理について一通り理解しており、農業大生二年生だった長男が代替要員になってくれたおかげで円滑に引き継げた」と言います。また、「前年にフリーストール牛舎とミルクングパーラーを整備していたことが不幸中の幸い」とした上で、「もしも息子による代替がなかったら、ヘルパー雇用の必要から四百四十万円の出費につながり廃業していた可能性もあった」と振り返ります。



事故の教訓と改善策

- ① 作業内容のリスト化やタイムテーブルの共有など、日ごろから家族が作業代替しやすい環境を整備しておく
- ② 作業場の滑り止めや柵の設置、道具類の整理整頓を徹底する

落下事故の予防と対策

危険を伴う高所作業時はヘルメットを着用し、2人以上で行う

負傷時は安易に自己判断せず医療機関を受診

トラックの荷台などにかかる際は滑りにくい靴やヘルメットを着用

雨や油で一時的に濡れた箇所はウエス（布切れ）等でふき取る

はしごは床の設置部分、壁の立てかけ部分などがすべらないよう固定

脚立使用時の注意点

降りるときは両手で体を支え、体重は残したほうの足にかける

開き止め金具や開脚防止チェーンを掛ける

作業時は手と膝で体を支え、天板とその下段の踏ささんには足をかけない



落下事故が多発しています

フォークリフトで育苗箱を二階に収納しようとして…

稲作農家の男性（60代）が一人でフォークリフトを使い、育苗箱を作業場の吹き抜け二階部分まで荷を持ち上げました。その後、二階に移動して育苗箱を引き上げようとしたところ、リフトで持ち上げた高さが足りず、しゃがみ込んで取ろうとしてバランスを崩し一階に転落しました。数分後に事業主が現場を訪れると、本人はフォークリフトの後ろに寄りかかり「立ち眩みがしただけで大丈夫」と言うものの、様子がおかしかったためすぐに救急車を手配。その間に男性は意識を失い、搬送中に嘔吐、脳挫傷、脳出血により意識不明の重体となりました。

雨で濡れたトラックの荷台から…

てん菜の苗ポットが入ったコンテナをダンプトラックの荷台に積み込んでいた男性（70代）が雨で濡れた荷台で足を滑らせ、砂利を敷いた地面に転落。その日は痛みを我慢したものの、翌日病院で診察を受けたところ、肋骨を三本骨折、肺にも穴が空いていたため肺気胸の手術を受けました。

脚立の天板でバランスが…

果樹農家の男性（40代）がプールの収穫中、脚立の天板に右足を乗せて前かがみになった際、バランスを崩して滑るように落下。脚立に足を強く打ちつけ右アキレス腱を断裂しました。

はしごで降りようとして…

畜産農家の女性（70代）が牛舎の二階からはしごを使って降りようとした際、はしごの床の接地面が滑り、臀部と左足を強打して打撲傷を負いました。